

地域住民の利便性向上のためのMaaS

～交通事業者の競合から協調によるレジリエントなモビリティ・サービスへ

公共交通の利便性向上のため、競合関係にある路面電車及び6事業者のバスを利用できるデジタルフリーパスを販売する。
また、観光客を対象として広島平和記念資料館や宮島の広島ゴールデンルート以外の観光地への誘客や、地域住民を
対象として交通空白地での移動手段の自家用車から公共交通への転換を図る。

協議会の 構成員	【幹事】広島電鉄(株)、広島市、日本電気(株)、(株)ヴァル研究所、(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・バイクシェア、ひろでん中国新聞旅行(株)、呉工業高等専門学校、広島大学		取組イメージ	
地域課題	● 運転手の減少や利用者の減少による、過疎地等における公共交通の路線の維持の困難さ ● 広島市内中心部における、公共交通事業者の競合による公共交通の非効率性 ● 広島ゴールデンルート周辺の観光地への観光客の少なさ		MaaSアプリを通じて提供しているサービスのイメージ デジタルチケットの購入・決済  ＜対象＞ →路面電車 →バス →フェリー →AIオンデマンド交通 →シェアサイクル 複合経路検索機能  他の交通モードとの連携 (リンク連携)  ＜対象＞ →AIオンデマンド交通 →レンタカー →鉄道 多言語対応 (日・英・中・韓)  デジタルフリーパス「広島たびバス」  AIオンデマンド交通「SMART MOVER」 	
取組の概 要	期間	2021年2月1日～2月28日	検証結果	
	エリア	広島県広島市内中心部、五日市湾岸エリアおよび周辺の市町	● 路面電車・バス・フェリーを利用できるデジタルフリーパスの販売 ➢ 広島たびバス販売数：81枚（目標1,000枚） ● 交通空白地でのAIオンデマンド交通を運行 ➢ 1日当たりの利用者数：14.4人（目標320人） ➢ ユーザー登録数：429人（目標2,000人） ➢ ユーザー対象アンケートにおいて、自家用車を運転する人のうち、「今後、AIオンデマンド交通を利用したい人」67.9% ● 交通と商業の連携実証実験：スーパーの買い物で、AIオンデマンド交通の無料デジタルチケット進呈 無料チケット発券回数：94回、無料チケットの使用回数：62回	
	MaaSシステム	既存のMaaS Webアプリ「MOBIRY」を独自に構築		
検証内容	交通サービス	● 路面電車や路線バス、シェアサイクルの複合経路検索機能の提供 ● AIオンデマンド交通「SMART MOVER」の導入 ● 「SMART MOVER」の乗車予約機能の提供 ● 路面電車やバス、フェリーのデジタルフリーパス、「SMART MOVER」やシェアサイクル等のデジタルチケットの販売 ● レンタカーの空車検索・利用予約（外部サイトへの遷移）機能の提供、予約時の料金の割引	今後の方向性	
	交通以外のサービス	● 交通機関のデジタルフリーパスの購入者に対する紙のクーポン冊子「広島たびバス クーポンブック」の配布 ● 商業施設の買物客へのAIオンデマンド交通のデジタルチケットの配布 ● 観光施設のデジタルチケットの販売	● MaaSサービスに連携する交通モードを増やし、MaaSの利便性を向上させる。販売実績や利用データ等分析により、利用者ニーズに応えるデジタルチケット商品を開発する。 ● AIオンデマンド交通に関して、サービス認知度向上のためのプロモーションや利用実績の分析により、利用回数の増加・サービス内容の合理化を図る。	